

尾張名陽圖會

五

307  
82



始





尾張名陽圖 會目卷之五

神祇祭殿  
深出安天  
多空此大神社  
七尾正体出現  
櫻川  
鶏藥師久法寺  
長茶寺  
八王子社  
大日  
中次村 善光寺  
拾指 群西行樹  
善福院  
鉄將附志水之古傳  
赤塚町  
赤塚神明宮  
長久寺  
山崎町  
白旗町



柳原道場  
御用水  
七尾天神  
天神池  
柳原  
志水  
解脫寺  
西次村久國寺  
同村  
長久寺  
山崎神社  
鉄炮塚町  
心海寺  
大用寺  
長久寺  
長久寺  
中根氏屋敷





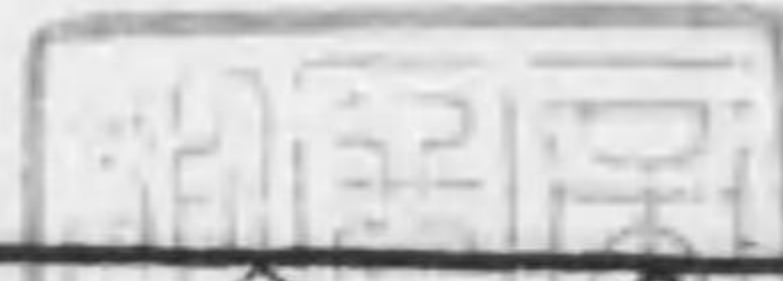
大友塚  
坂田町  
天道町  
禪澤寺  
養念寺  
平田園  
法道寺  
松法寺  
池城寺  
白山社  
馬老塚  
一里塚  
尾師  
物部氏  
茶田山  
石神堂

佐子町  
九十町  
山口松山神社  
圓勝寺  
養念寺  
布衣堂  
山王権現社  
淡池横町  
宗圓寺  
宝林寺  
真田町  
車通  
古井村  
長春松  
寶敏法師の傳

檀木町  
相應寺  
朝日天道宮  
吳真寺  
祖母藥師  
本覺寺  
圓通寺  
丸結  
於便寺  
東鬼寺  
東鬼寺  
誠度  
覺音寺  
寶泉寺  
東指夫場  
自修院  
情心寺  
速中寺  
谷古屋東出口古敷場

山崎谷之古覽  
大曾根八幡宮  
大曾根八幡宮神樂大鼓之圖  
大曾根堂  
大曾根村  
清林水  
大曾根賣店  
弘法水  
出末町  
六社  
菖蒲場之池  
養念院  
五百羅漢大龍寺  
清吹寺  
清見院  
波無寺  
名古屋  
山口





神祇祭殿

御社の門と祭壇の元うす三儀殿と云ふ祭壇殿も樹  
寛文五年所造常より荒神社石神社とも云ふ所の  
御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿

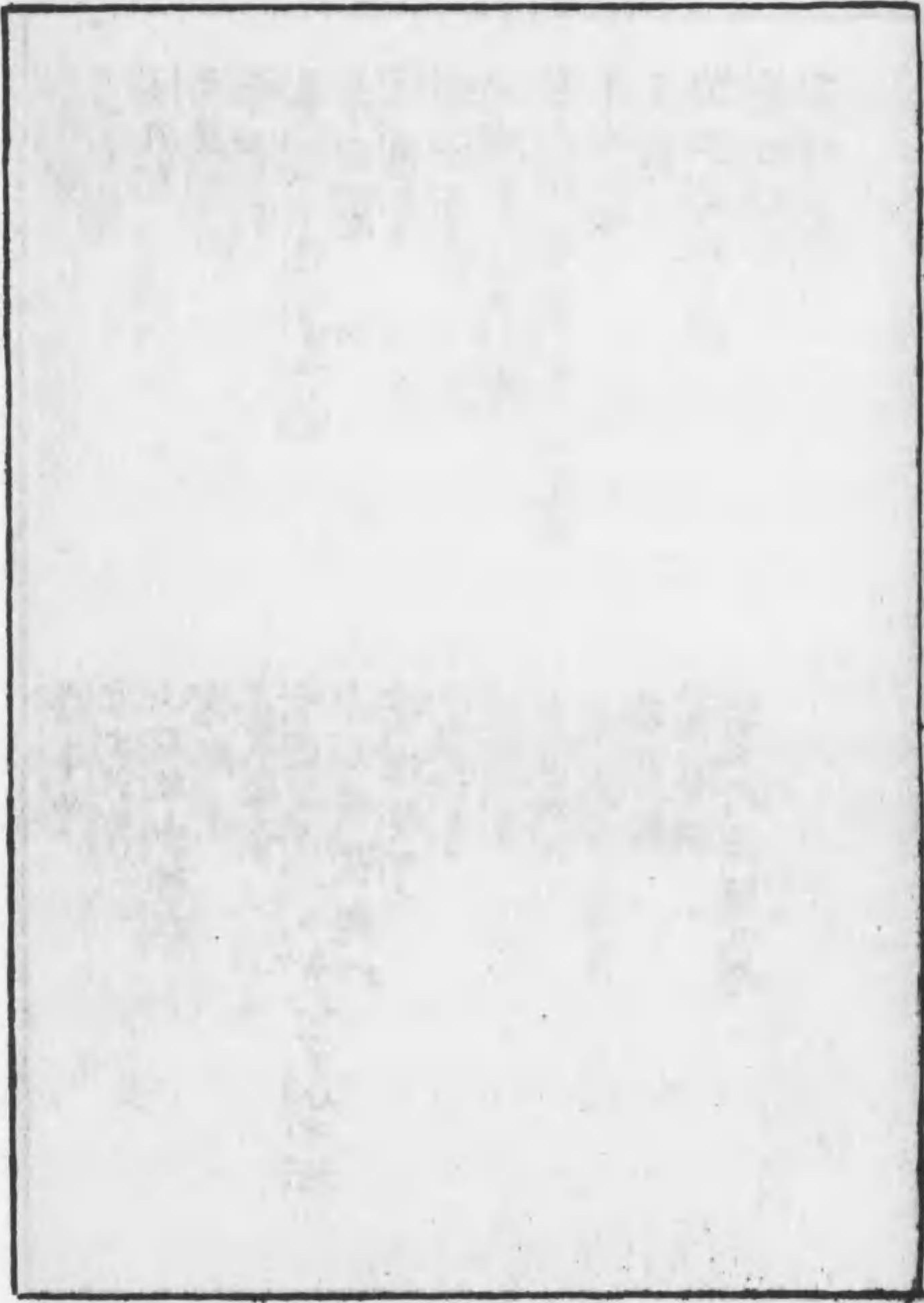
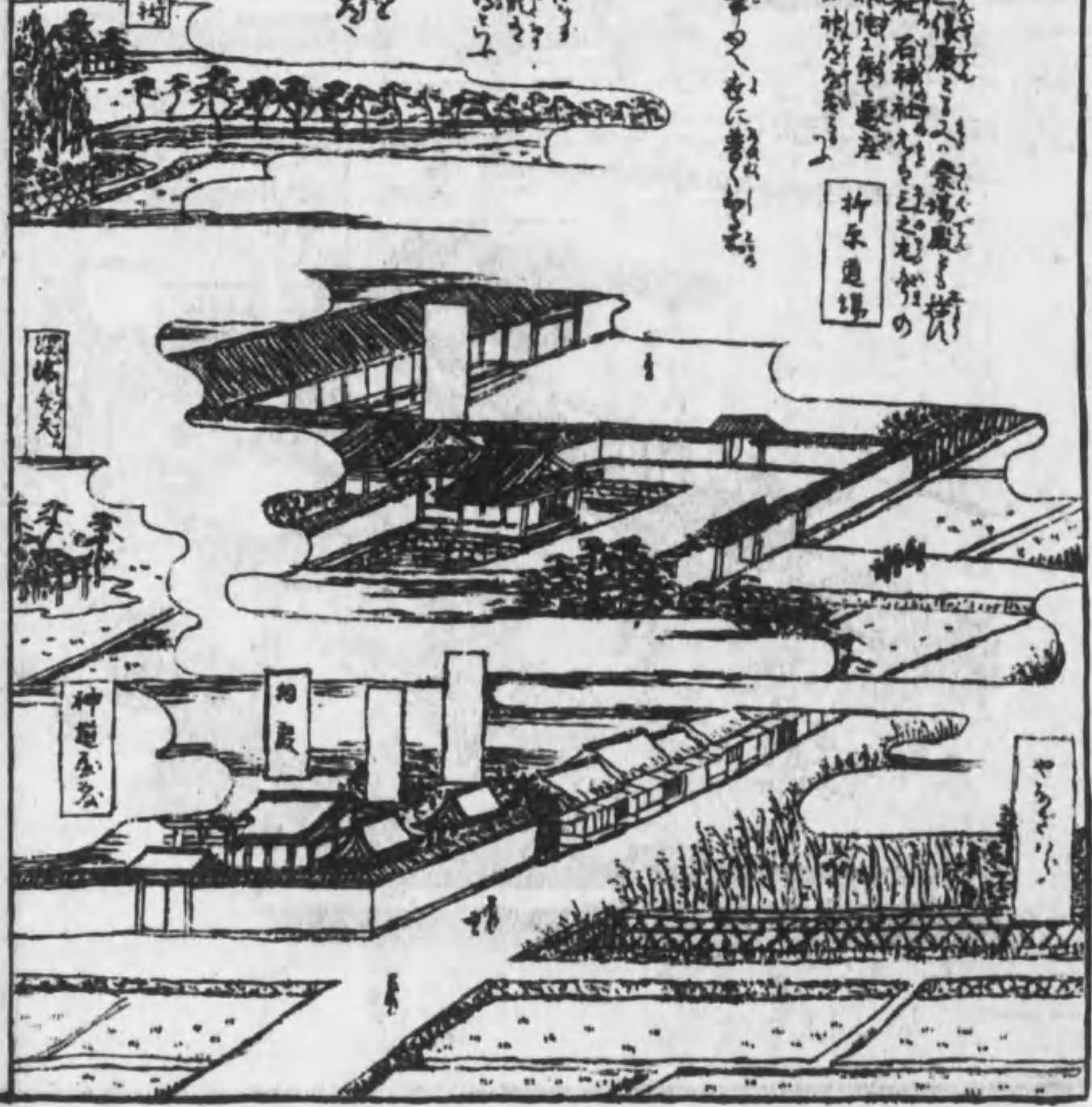
豊洲御社の基うすて近年の草のむくむく  
ちんちんする

深草女天相

深草女天相の御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
深草女天相の御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
深草女天相の御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿

御用水  
御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿

多岐川神社  
多岐川神社の御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
多岐川神社の御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿  
多岐川神社の御社の元うすをいふと云ふ所は御社の御殿









七尾天神

正体出現

御起事に詳らんと古老の御  
おぼえの御事一ツの御事  
を記しおぼえ人々あやまの  
おぼえを記しおぼえ神像を  
おぼえおぼえ御り神像を  
おぼえおぼえ御り神像を  
おぼえおぼえ御り神像を

天神化

の御神像を御り神像を  
御り神像を御り神像を  
御り神像を御り神像を  
御り神像を御り神像を

御り神像を御り神像を  
御り神像を御り神像を  
御り神像を御り神像を  
御り神像を御り神像を



柳原

古老の御事一ツの御事  
おぼえの御事一ツの御事  
おぼえの御事一ツの御事  
おぼえの御事一ツの御事

精薬師 桂昌山久法寺

おぼえの御事一ツの御事  
おぼえの御事一ツの御事  
おぼえの御事一ツの御事  
おぼえの御事一ツの御事

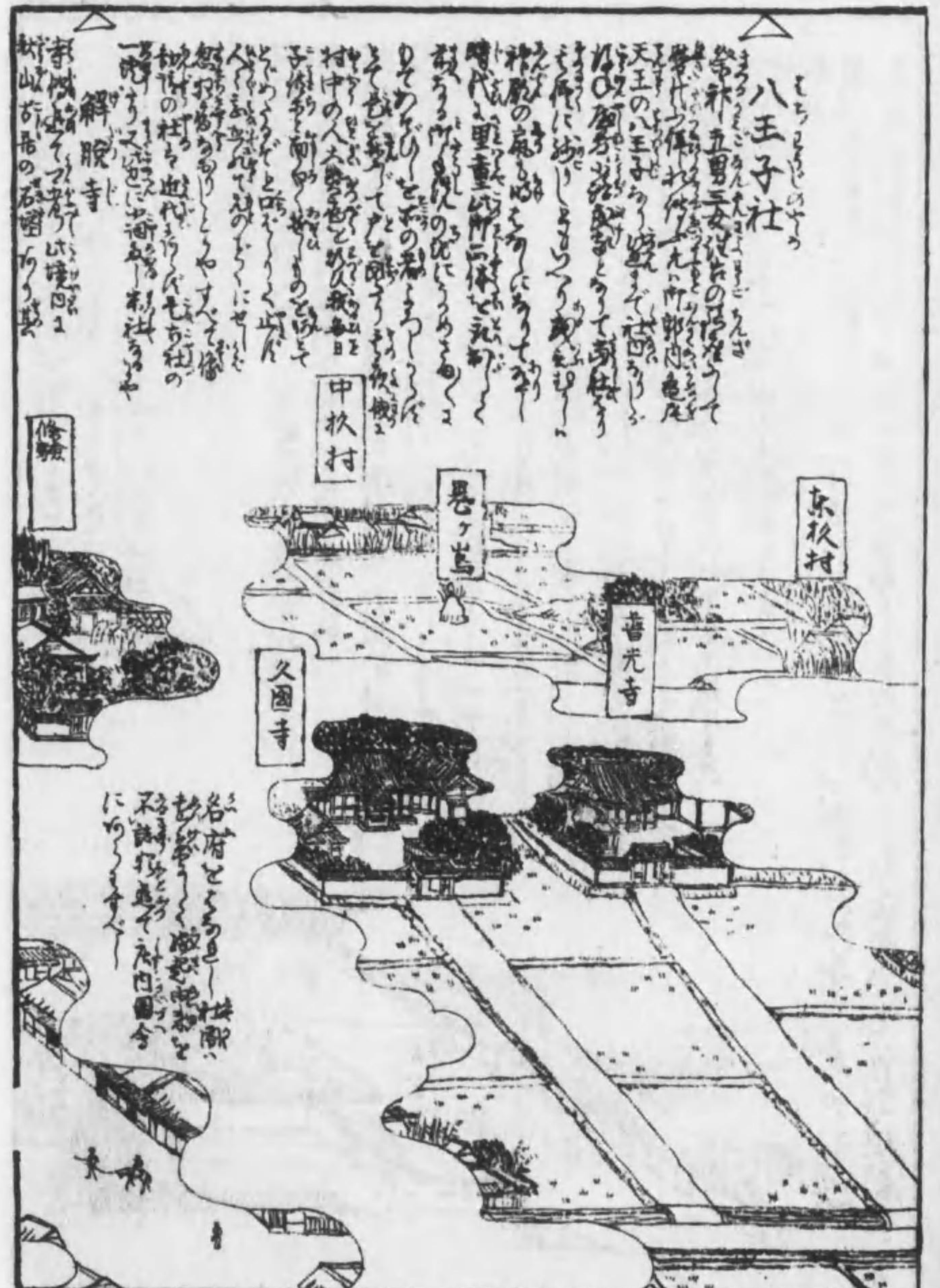








大日表  
 西杖村入園寺  
 中杖村普光寺  
 解脱寺



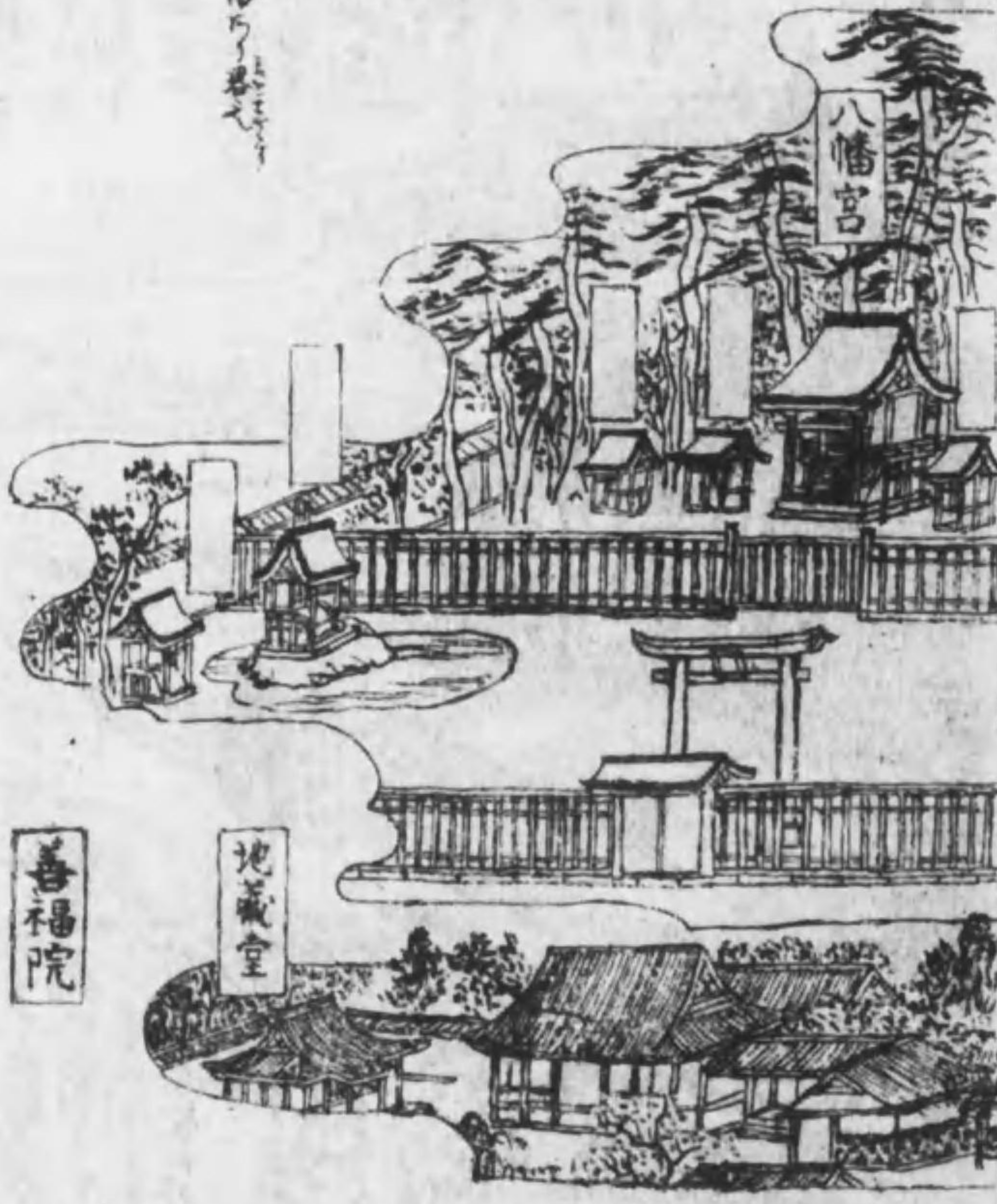
八王子社  
 東杖村  
 普光寺  
 久園寺  
 中杖村







長久寺の書院より  
 北の方と見えしを  
 法場の敷居に  
 つらねの街系と  
 當寺八景  
 尾府城跡 清水蓮池  
 龜尾神社 小松雲煙  
 管吹残月 蔵玉軒堂  
 志繁孤村 前村八王子  
 第七世孫大僧都法印の法衣のゆかりあり





△ 斤山神社

長藏王権現ありて是れ古より  
 本國の任に任斤山神社とあり  
 神宮寺山田のありむらむら山  
 田のありむらむら山田のありむらむら山  
 入りむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山  
 天竺二代王権現ありて是れ古より  
 當國の任に任斤山神社とあり  
 神宮寺山田のありむらむら山  
 田のありむらむら山田のありむらむら山  
 入りむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山



東校村

△ 心入寺

心入寺のありむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山  
 天竺二代王権現ありて是れ古より  
 當國の任に任斤山神社とあり  
 神宮寺山田のありむらむら山  
 田のありむらむら山田のありむらむら山  
 入りむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山

ありしはこれぞむらむら山  
 の権現のありむらむら山田のありむらむら山  
 天竺二代王権現ありて是れ古より  
 當國の任に任斤山神社とあり  
 神宮寺山田のありむらむら山  
 田のありむらむら山田のありむらむら山  
 入りむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山

○ 未社  
 富士権現 本名権現  
 白山権現 白理権現

○ 境見権現  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山

○ 芳野権現  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山

芳野権現  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山



○ 社地  
 社地のありむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山  
 天竺二代王権現ありて是れ古より  
 當國の任に任斤山神社とあり  
 神宮寺山田のありむらむら山  
 田のありむらむら山田のありむらむら山  
 入りむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山

○ 権本志水  
 権本のありむらむら山田のありむらむら山  
 天竺二代王権現ありて是れ古より  
 當國の任に任斤山神社とあり  
 神宮寺山田のありむらむら山  
 田のありむらむら山田のありむらむら山  
 入りむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山

○ 鐵府志水  
 鐵府のありむらむら山田のありむらむら山  
 天竺二代王権現ありて是れ古より  
 當國の任に任斤山神社とあり  
 神宮寺山田のありむらむら山  
 田のありむらむら山田のありむらむら山  
 入りむらむら山田のありむらむら山  
 権現のありむらむら山田のありむらむら山



藏王社

鉄砲洲志水之古傳

おぼろふ夜時秋の夜に美事なり  
地水を取て洗行そつてゆ鉄砲洲  
徳の味なり

五世に神皇正統にも見ゆ  
まきりてふれども中世五世の社  
ありしをりてて寺僧の  
夫のゆゑなりやと云世に  
みありて天の御魂の御魂  
ゆゑなりこれ神皇正統にも  
ありて神皇正統にも見ゆ  
人ありしに化人御魂の御魂  
ありしに神皇正統にも見ゆ  
ありしに神皇正統にも見ゆ



鉄砲堤町

鉄田町の町より西の町ありて  
鉄田町の町より西の町ありて  
鉄田町の町より西の町ありて  
鉄田町の町より西の町ありて  
鉄田町の町より西の町ありて

赤塚町

赤塚町の町より西の町ありて  
赤塚町の町より西の町ありて  
赤塚町の町より西の町ありて  
赤塚町の町より西の町ありて  
赤塚町の町より西の町ありて

仙海寺

仙海寺の町より西の町ありて  
仙海寺の町より西の町ありて  
仙海寺の町より西の町ありて  
仙海寺の町より西の町ありて  
仙海寺の町より西の町ありて

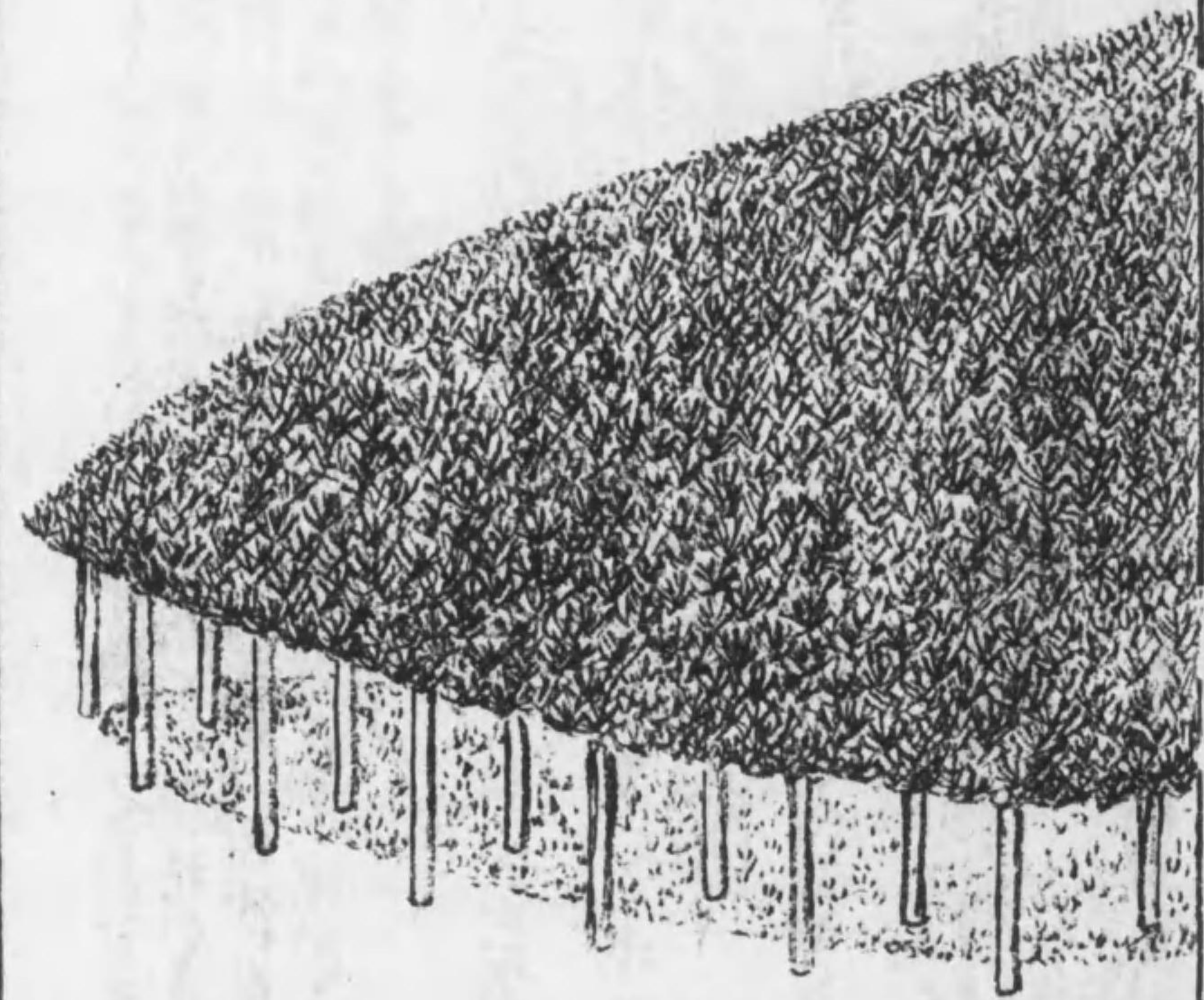
赤坂神明宮

赤坂神明宮の町より西の町ありて  
赤坂神明宮の町より西の町ありて  
赤坂神明宮の町より西の町ありて  
赤坂神明宮の町より西の町ありて  
赤坂神明宮の町より西の町ありて

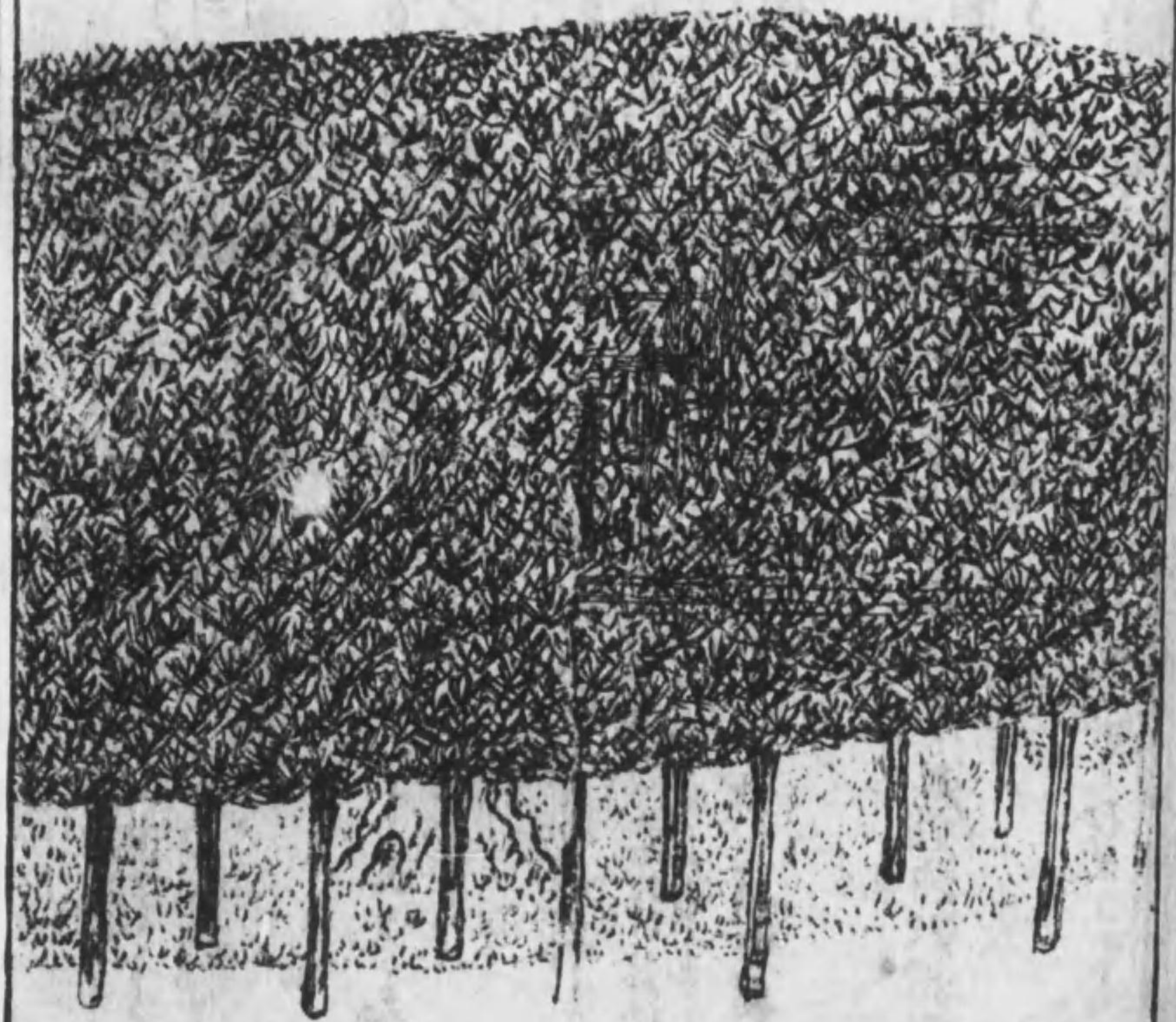
天理山大用寺

天理山大用寺の町より西の町ありて  
天理山大用寺の町より西の町ありて  
天理山大用寺の町より西の町ありて  
天理山大用寺の町より西の町ありて  
天理山大用寺の町より西の町ありて





長久寺  
中根氏  
在松









寶龜山相慮寺

本尊阿彌陀如來  
開山本蓮社願登上人

寛永二十年

御建堂あり

相慮院殿御菩提の

聖場あり

○御宝物

一教如來佛牙宝塔

多寶佛品あり

佛心又々佛心佛人の

所小房風谷あり

善行寺

赤塚神明宮

相慮寺

玉相茂

東月院



社殿あり

△善行寺

當寺用山

嶽形あり

ひらき山の中

形をとりて

橋本保壽寺に

二男御堂あり

法名と願

と願あり

激龍坊

ともいふ

寛永村あり

今の地は

今にあり

△大用寺

△仙海寺

大用寺

赤塚神明宮

善行寺

赤塚神明宮

大のん





















△大善根養堂

以町通の養堂より店より  
 養堂の養堂は物を養ふに  
 棚を店をいつくも養に  
 木の養の養のものを  
 金も養の養のものを  
 坂下に以棚を養の養の町に  
 養の養の養の養の

△丸籠

以町の養子屋に地蔵堂  
 丸くひらきとて養の養の  
 店より養の養の養の養の  
 以町の養の養の養の養の  
 丸くひらきとて養の養の  
 店より養の養の養の養の  
 以町の養の養の養の養の



△知見寺跡

知見寺跡 知見寺の地蔵堂  
 方使寺跡 坂下町より養の養の  
 弘法井 以町の町に井戸を  
 弘法の井戸を養の養の

△長尾山東鬼寺

本山薬師 関山卓運法印守保十一年  
 長尾山鎮王鐘一口願主在行影  
 大工卯宗

為祈待奉鑄 應永十冬 六月大吉日  
 長尾山鎮王鐘一口願主在行影  
 大工卯宗

以町の養の養の養の養の  
 丸くひらきとて養の養の  
 店より養の養の養の養の  
 以町の養の養の養の養の  
 丸くひらきとて養の養の  
 店より養の養の養の養の  
 以町の養の養の養の養の









△蓬萊山宝泉寺

惣見寺忠和向を祀りて...  
織田家の時代建立...  
延享九年此地より遷す

五百年経漢福壽山大龍寺  
佛殿の本堂...  
文珠菩薩の二大士を安置...  
寺を遷す



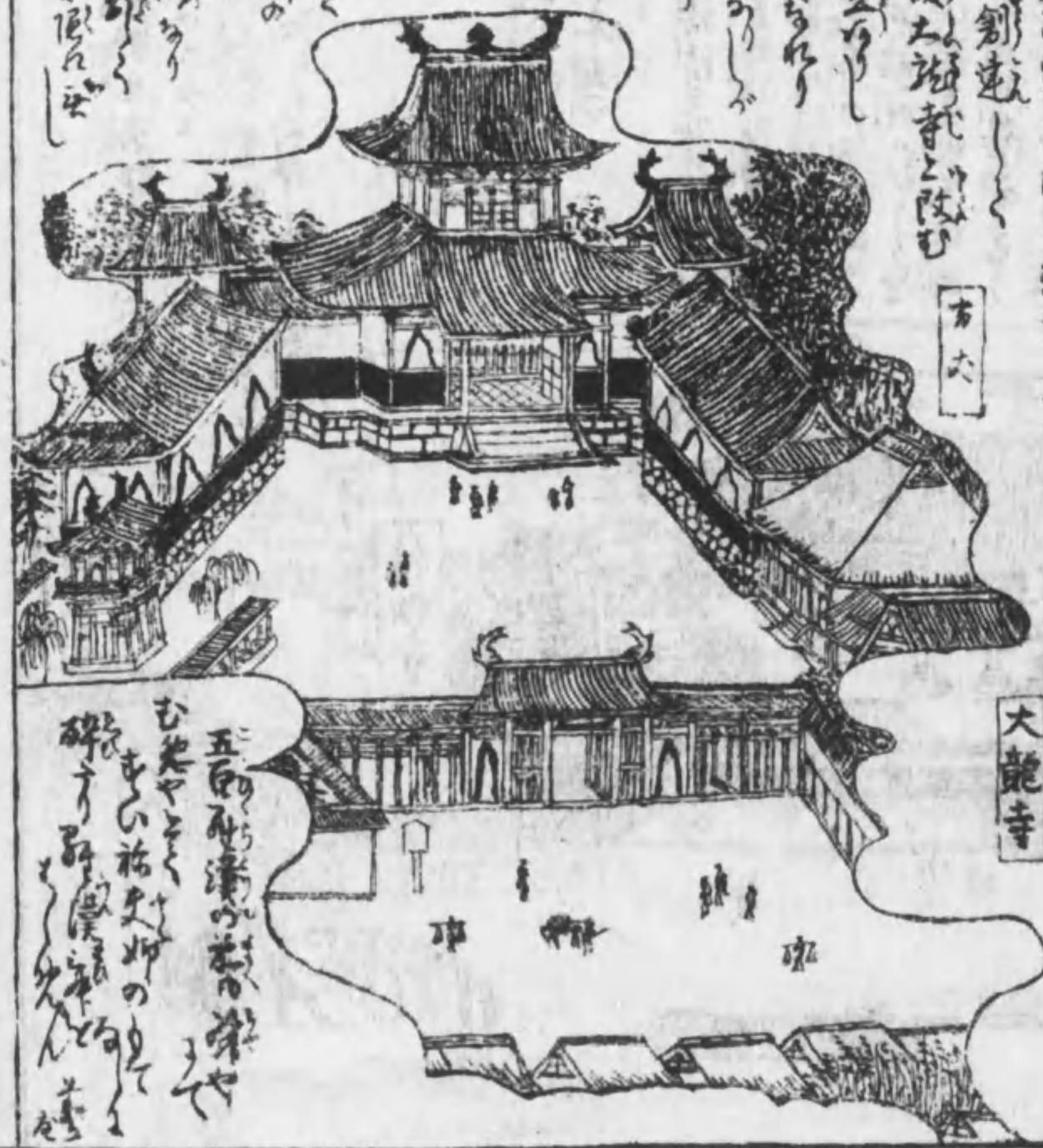
宝泉寺

金堂

佛

延享九年... 弘法大師の... 山鉄...  
大龍寺... 延享九年...  
長... 延享九年...  
延享九年...  
延享九年...

○諸病の療治  
延享九年...  
延享九年...  
延享九年...  
延享九年...



大龍寺

五百年経漢福壽山大龍寺  
佛殿の本堂...  
文珠菩薩の二大士を安置...  
寺を遷す



指矢場  
 長江の流るる中星野の東都三十三間堂の  
 通し矢を射る所なりと云ふ  
 御正統の御代に三十三間の堂を造りて  
 前津三輪社に申し候と云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ

源頂山情牧寺

同山等覺院日蓮上人の遺教に依りて  
 長江に流るる中星野の東都三十三間堂の  
 御正統の御代に三十三間の堂を造りて  
 前津三輪社に申し候と云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ  
 上現真御柳と云ふ瀬川ありし寺を  
 長江に流るる中星野の東都三十三間堂の  
 御正統の御代に三十三間の堂を造りて  
 前津三輪社に申し候と云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ



○靈宝

一史祖伝に備君子母神も依  
 住昔山城松ヶ崎村岩崎氏何某  
 叔代感ぬもり候と云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ  
 どのれれと云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ  
 家内が何れと云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ  
 而も何れと云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ  
 の少利益ありと云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ  
 御正統の御代に三十三間の堂を造りて  
 前津三輪社に申し候と云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ



一人の老女はちを懐くといひて候と云ふ事にてまじ東矢  
 場と云ふ











宝池山自覚院

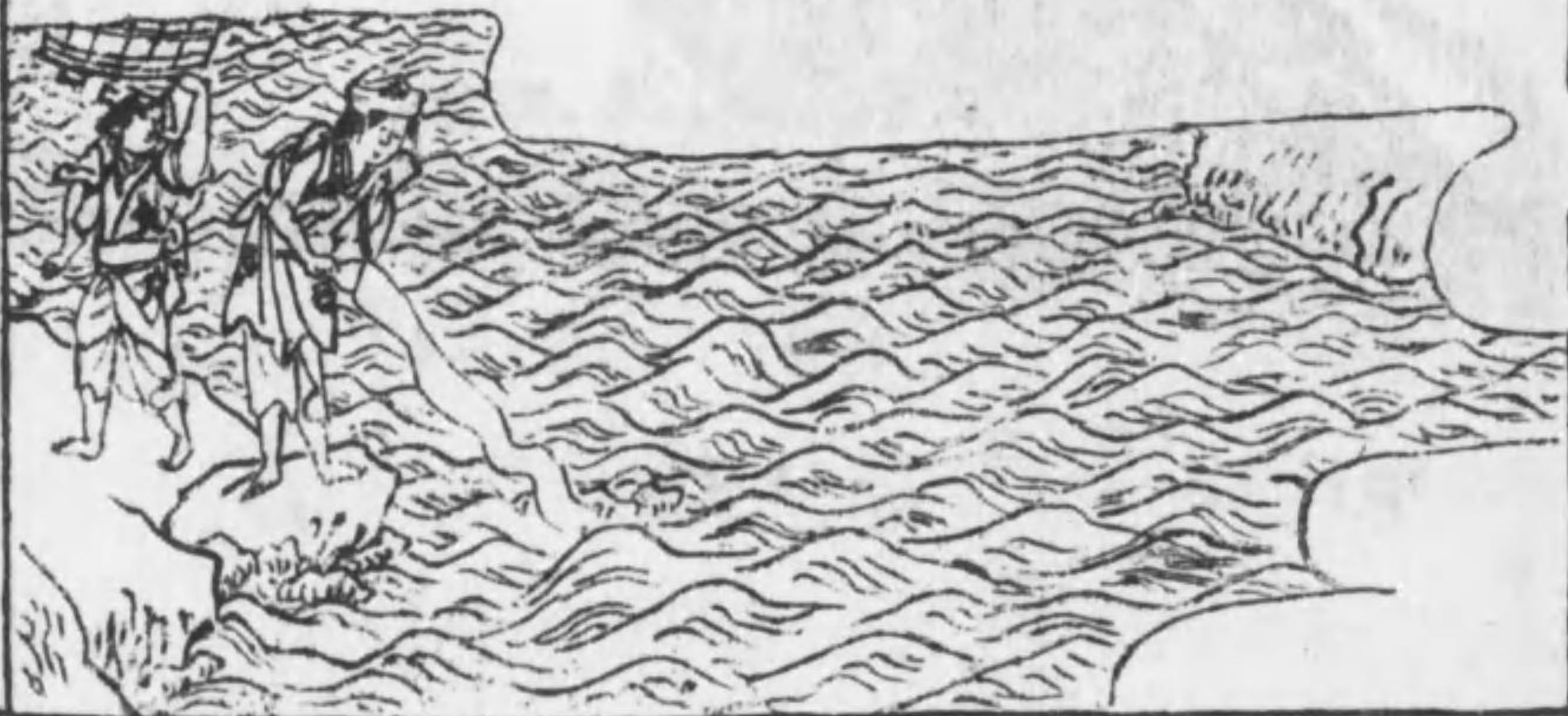
圖画一冊

本寺の前身は池田如來 作不知 崩山吞屋服 卷眞阿上人より申變國に在りて同國  
 安寺七代より卷吞吞上人の弟子と成りて相別縁會光心寺住持在り  
 和尚の法法をうけ道息意傳つてより其地を著し居り  
 上の御台命にうり本住より寛永年中に在院住住し其地を著し居り  
 令戒光明寺に住職より其地を著し居り  
 ○國光大師の遺像 此の像は國光大師の遺像なり其像は  
 院の崩山吞屋服光心寺に在りて其像は國光大師の遺像なり其像は  
 うつともちり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 方其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 りともちり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 うつともちり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 院の崩山吞屋服光心寺に在りて其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 今其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 院の崩山吞屋服光心寺に在りて其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 今其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり

波越

舊跡

和の光に照せし  
 修古堂と云ふ地名の  
 各府も来るも此の  
 大正の頃も此の  
 北の邊の女も此の  
 山の頂を流の邊に  
 依懸山と云ふ地名  
 て名を冠すも此の  
 今其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 今其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 今其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり  
 今其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり其像は國光大師の遺像なり





徳興山建中寺

本寺河津陀如來  
鳥佛師の作りとて稀  
あるも像あり

開山業蓮社或是龍高齋吾  
上人七高下徳園結城村  
寺一代の住職ありと云安六年

所建立の物所情はさるり  
山号寺号の由來を  
記しつゝしをを記に  
あつて

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手



○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

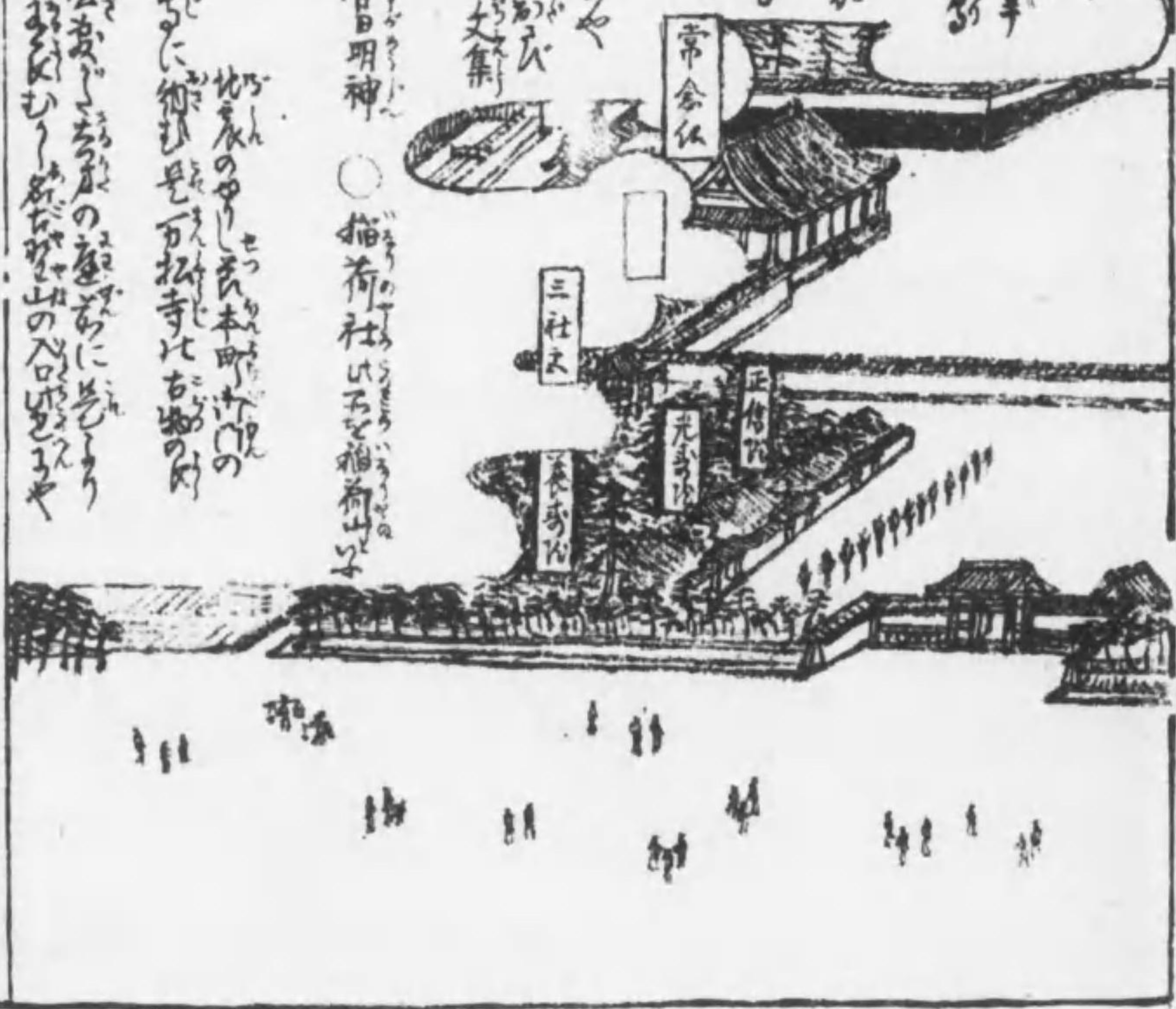
○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手



○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手

○山門 本寺は四葉末  
殿土番世文珠の二番  
十六年漢王手



△名古屋山

東出口 古戰場

此軍をせにわする所の天武天皇の御  
 弟元原親王と申す時大友皇子との  
 合戦あり尾張の國司小千部鉦鉤の  
 親王方より東國一王子方の  
 諸軍都て故きけ地と通ひ久鉦鉤  
 長に伏勢をおきて秋と少きをし  
 而あり大友真鳥實記卷之七と曰  
 尾張國司小千部鉦鉤二十の軍兵を率て  
 親王の幕下にて服し忠を研むりて  
 鉦鉤計畧に達するありれ名護屋の  
 出口東の山の千々伏勢と差違ひ敵の往來と  
 おんんと計りける時書直葉章那公監數等  
 五百余騎の兵を率て東國の諸軍備候て  
 此所を通りけると結まひりて鉦鉤が伏勢山上より



ありて思ひくらざる直葉等が兵大なるを  
 右往尤往に敗走す伏勢等すまをりせり切り  
 してけん踏止て戦ふ兵を散々に切たせりれ計り  
 者數をわたり下敷とて直葉等鉦鉤の兵  
 此場を切ぬんとせり東國の軍に取圍切入  
 りて東のやけ御を掃きありしありあり  
 此地のたてをたてし東出口とて  
 之を傳へてるる画の

△山口

山口のよき名を全とあるありて  
 上を本寺の寄り名也の山ありの  
 山ありて人々ありてこれなる  
 ありて名古屋山ありのり  
 ありて名古屋山の入口とて  
 ありて半で山口とてなれば山口の  
 ありて村の名もありすとも  
 ありて山口の地を古井村の地と入り  
 ありて古井村の地と入り古井の地と  
 ありて古井村の地と入り古井の地と









△宗真山 禪隆寺

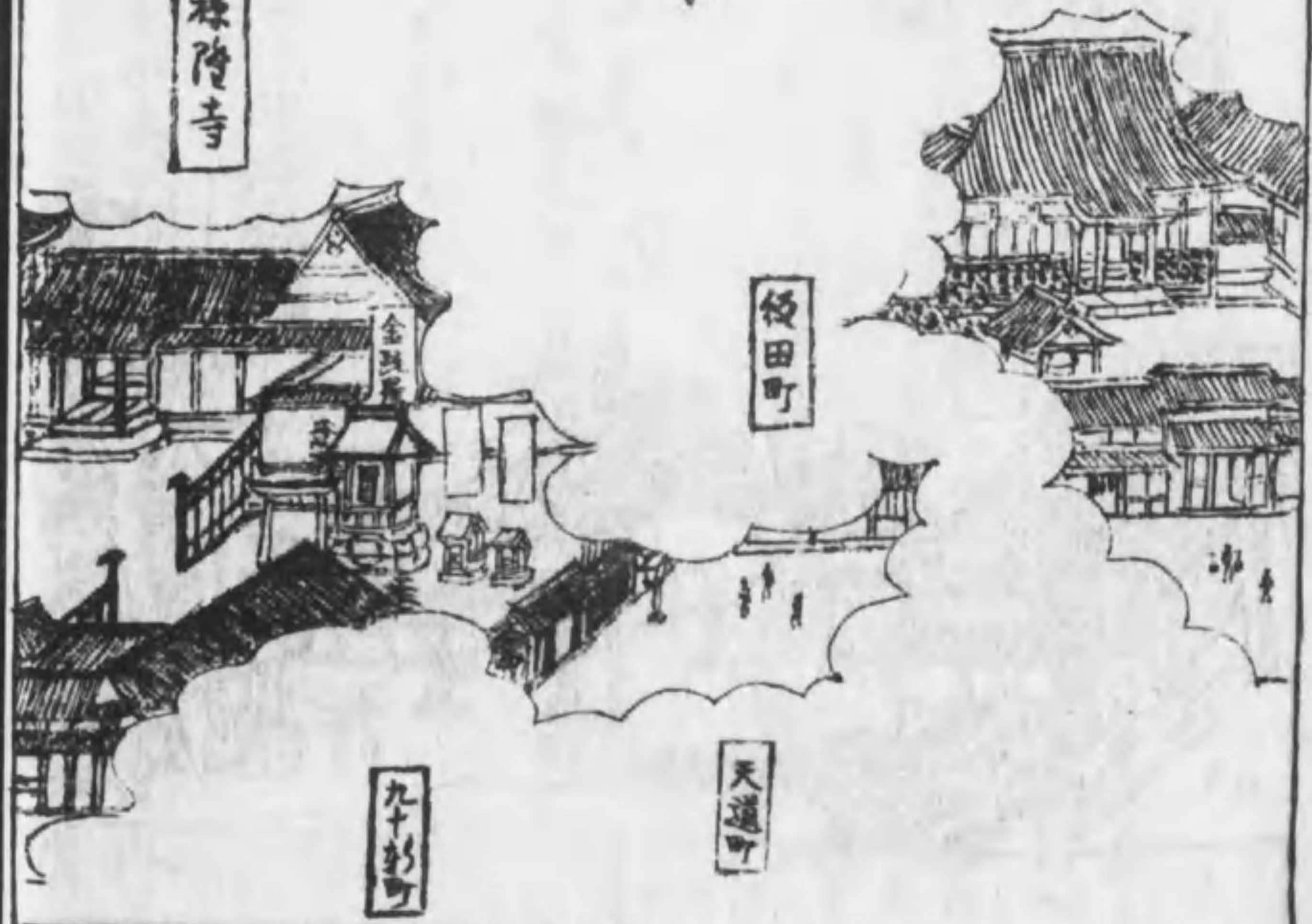
むらさき 茶店を  
 湯の川 傍に 名不刊  
 宗永の 山元 山元山 山元山  
 一寺とあり  
 本寺より 体院 竹林を あり  
 大檀那 荒川氏 先祖 菩提の ために  
 一圃の 修利 ありし ことぞ

圓勝寺

△圓勝寺

池の 申別 ありて  
 同基を 築む 武士 あり長  
 寺号を 三永坊 といふ  
 然二世 菩提 壇の 代

禪隆寺



△富永山 養念寺

町名 清次 といふて 正林寺と  
 町名 清次 といふて 正林寺と  
 ○聖室  
 蓮如上人 真筆の 名号 ありしを  
 伊豆 あり  
 決死に けしき 種本町に 建てる  
 寺号 ありし ことぞ



當寺を 惣別長 流の 城を 富永 築後 守り 人の 代目 長門 ありし ことぞ  
 無名 ありし ことぞ  
 富永山 養念寺を 建てる 人 ありし ことぞ  
 の 祖師 聖人と ありし ことぞ  
 ○聖寶  
 祖師 聖人の 画像  
 毎月 廿七日 廿八日 同日 修利 ありし ことぞ  
 子 聖堂に 奉置し



富永山養念寺

寺傳最古

この寺傳は清道言記蓮如上人御一代問書の一  
 二白明應六年四月十六日御上洛にて  
 その日御河山聖人の御顯の  
 正本あつて一校

つまぜこつちの

御筆にて浄座

候とて上様

御ひらげ

さうらいて

二あるに

をかせ

ふまへ

この正

本まこと

は新善



あつては  
 拜見まらさぬ

ことありと

柳られ候とて

そい御書

空善ははら

極意圖本法寺

御よりしを他上人の

り代に富永統法寺

派ひそれより他

お増せしをひらけりて

山神連署記より歡来湯作らるる

中伝し御よりりては

御書に御上人の御書に

御書に御上人の御書に









養念寺

門前心中法

元禄六年六月

八日辰七時布衣

玉の島子理御光に

弓金の旗木より光に

竹田の髪と方けり

指も髪と濡し女と

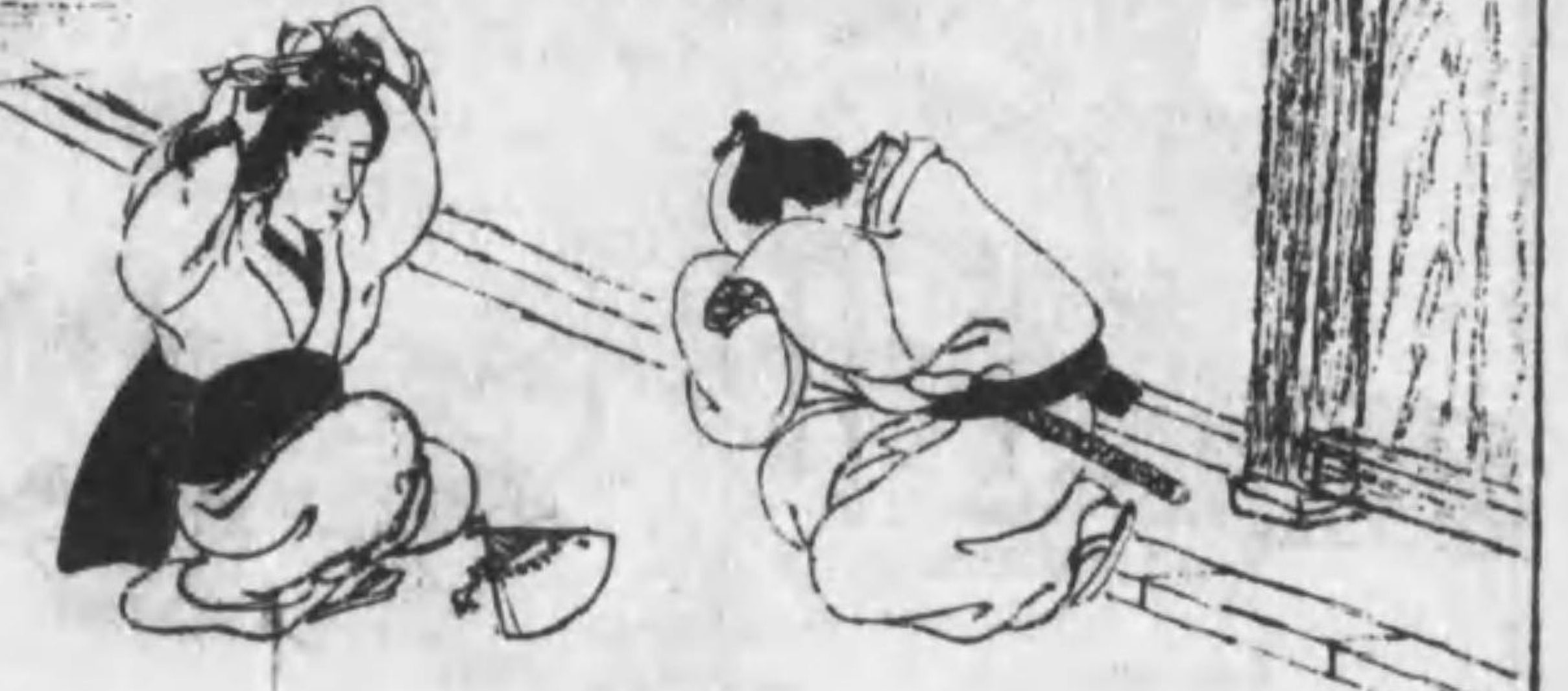
指も髪と濡し女と

指も髪と濡し女と

指も髪と濡し女と

指も髪と濡し女と

てんりうあざり海老の身ゆきとんし心のきりきり



散々新色あやかし死きんあまふり  
わらわも子なれぬ中あはれ不便と  
わらわの念ゆき死入り身残のなき  
おとこも脚あざりうきと死す  
恨のつら  
おとこも脚あざりうきと死す  
恨のつら  
おとこも脚あざりうきと死す  
恨のつら





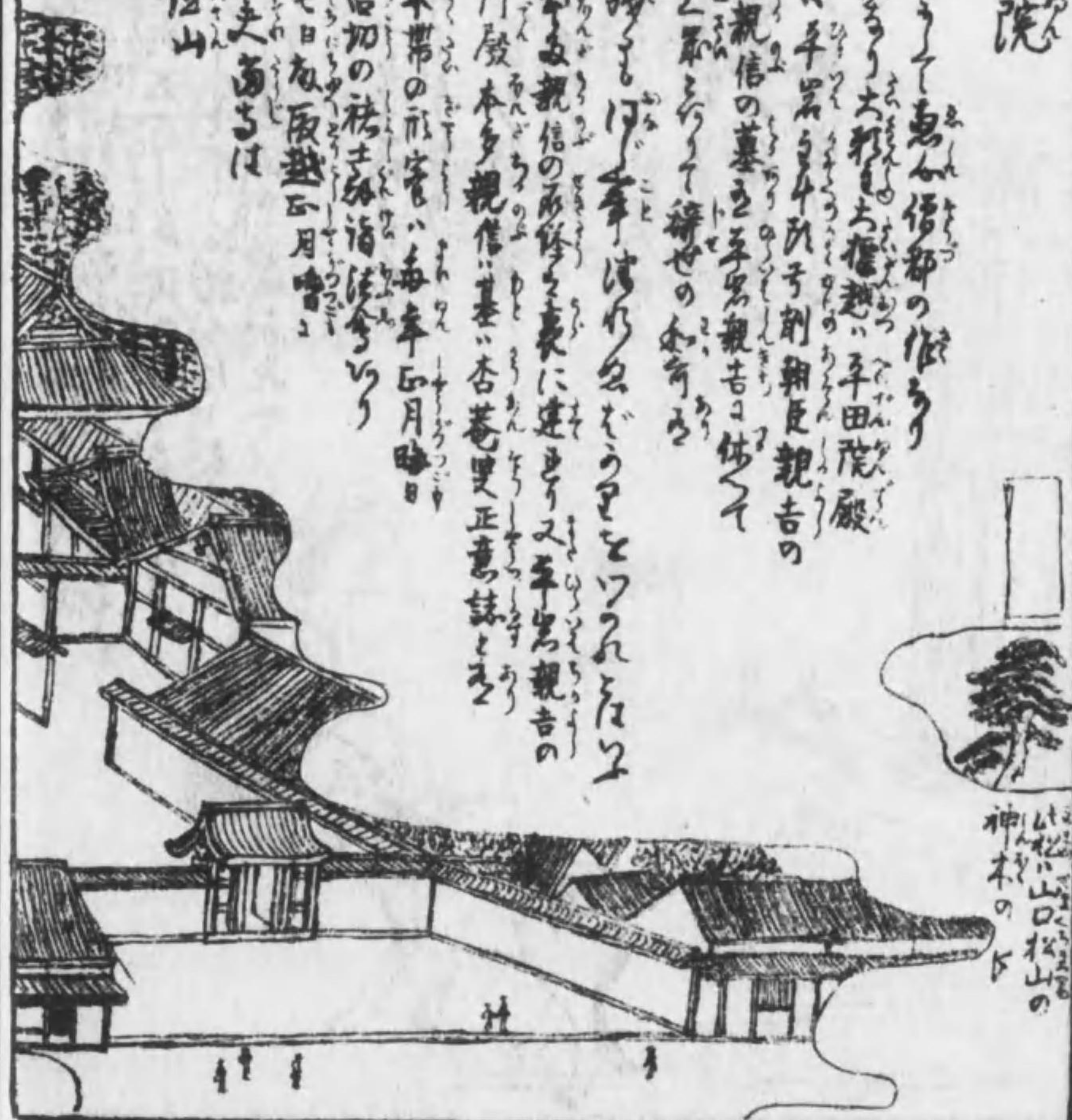
平田院

平田院は河津郡佛子にて惠心僧都の御あり  
 所山と誘懐物あり大杉も大権越平田院殿  
 越前休岳大居士平岩より平田院殿  
 菩提下より又本寺親信の墓と平岩親吉の  
 墓との特物死に大之墓ありて神世の御あり  
 先よりありてあり御あり

平岩より平田院の所縁平岩親信の所縁を裏に建より又平岩親吉の  
 銘は儀杖十身在衛門殿本寺親信墓は否甚更正意誌とあり

聖像平岩親吉米常の形像は毎年正月晦日  
 右縁相と念申良善切の祐と縁海法あり  
 舟を振舞正月十七日辰辰正月晦日  
 右の通り修行歌を夫道さば

法華寺と号する  
 平岩親吉の  
 菩提ありし



神木の松山

甲斐

甲府

二の親吉

苗云大山

邦君の傳

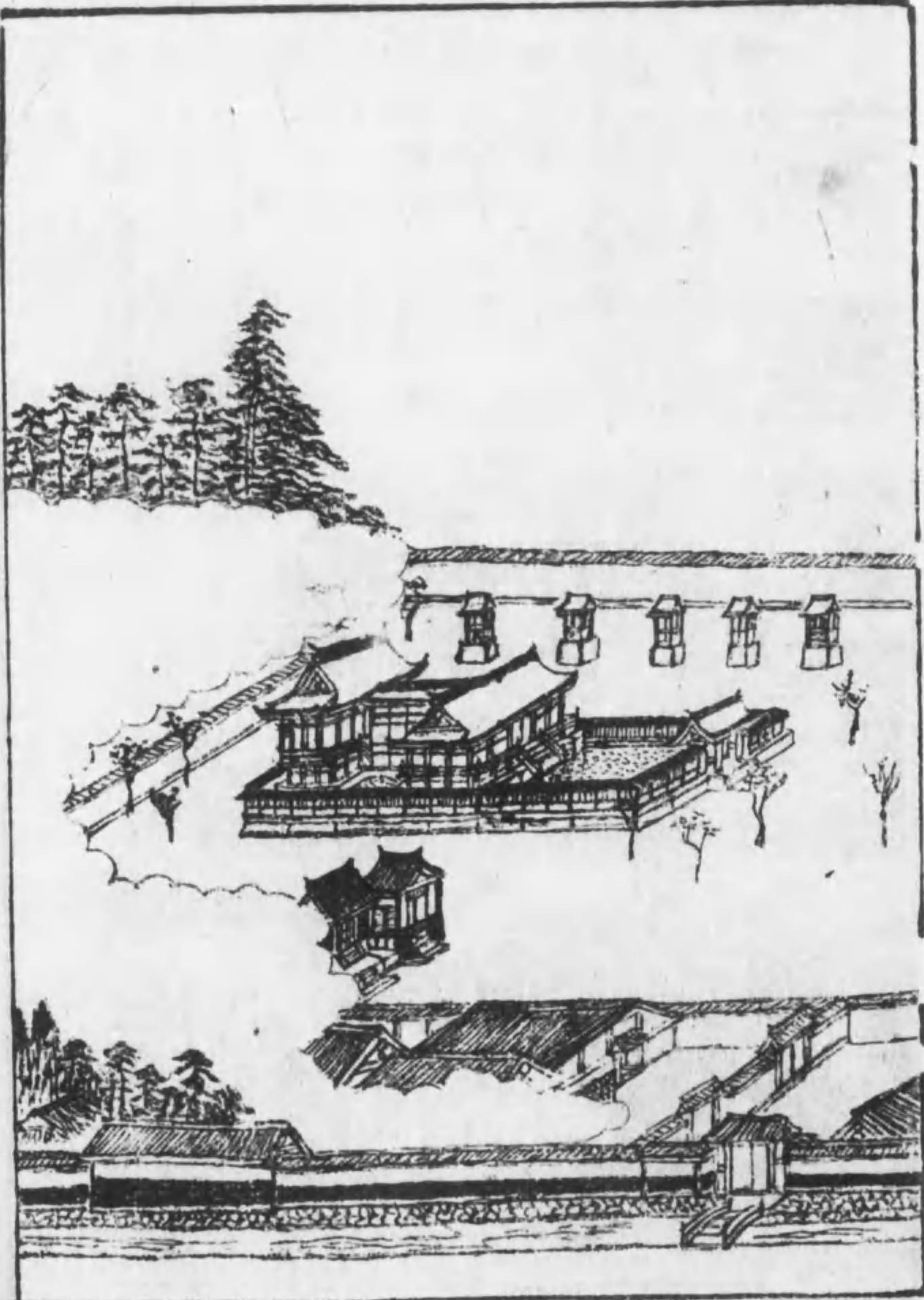
前府版法在町  
 の北行路と稱す

同十二年に親吉病つゆて法後事の密に奉る三別業寺法服身に奉りあり  
 かく法令を辨れ同十八年法杖氏尚地よりついで奉身し其法後傳建社  
 大基を智恵道法を著せ故に平田院と稱す家ありてありあり高寺故家の  
 所山あり平岩親吉の二法功を其法多く權ありて常んを大に供へ

○平岩親信石塚花明をまつて是つ

- 三社神 天照大神宮
- 大木坊 此の方に在る
- 地蔵堂





山王権現社





△青井山法道寺

此寺は地蔵菩薩の所居なり  
寛永十九年抄切の移り  
用山に常玄院日解を人  
なり

△法道寺

此寺は地蔵菩薩の所居なり  
寛永十九年抄切の移り  
用山に常玄院日解を人  
なり



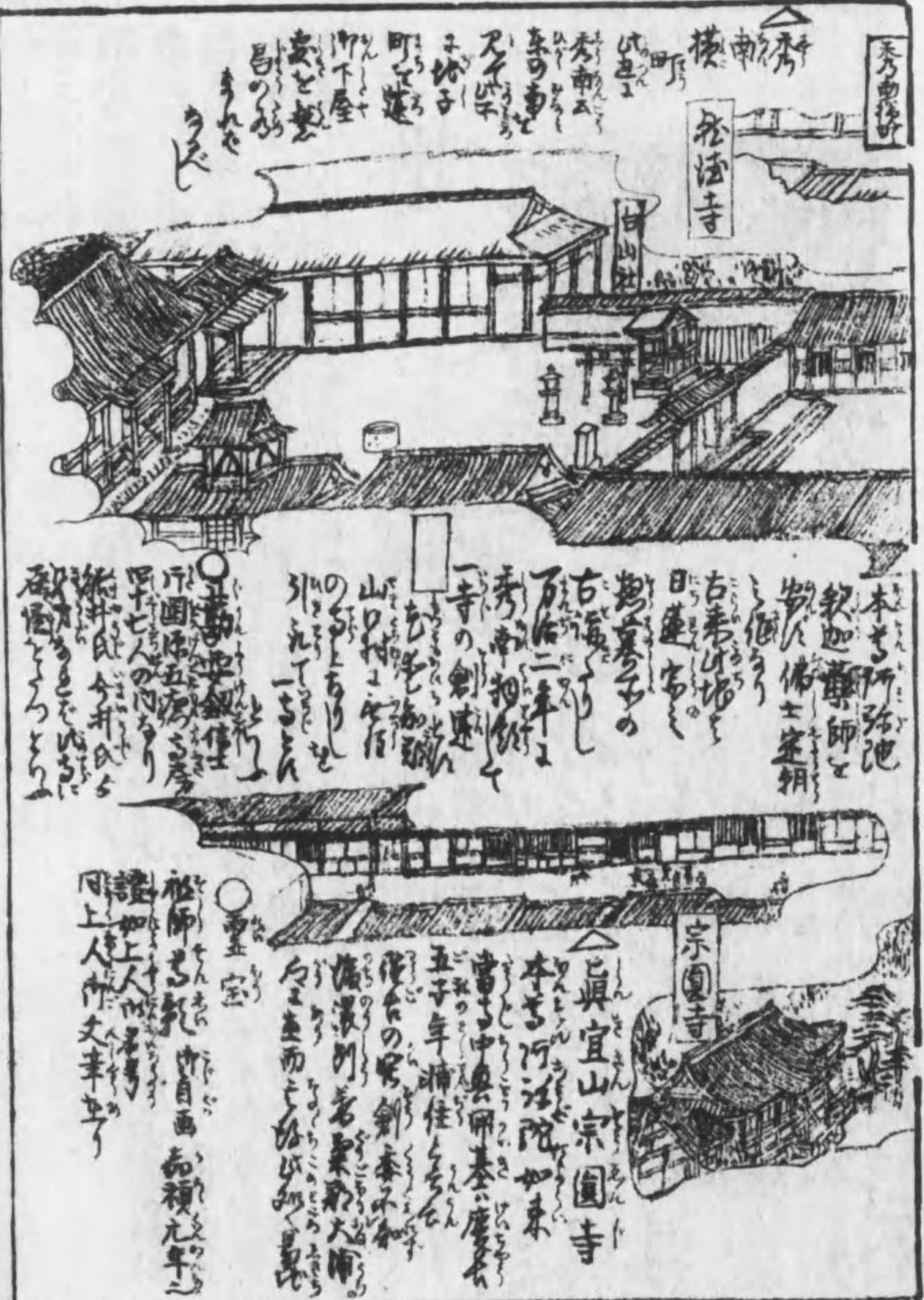
△雲龍山法道寺  
所山北岩秀南公

東町

法道寺

△横町

此寺は地蔵菩薩の所居なり  
寛永十九年抄切の移り  
用山に常玄院日解を人  
なり



法道寺

宗圓寺

△真宜山宗圓寺

此寺は地蔵菩薩の所居なり  
寛永十九年抄切の移り  
用山に常玄院日解を人  
なり



曹溪山宝林寺

本寺は觀世音昆前鞠座正作本寺宝林寺殿月鑑永大禱定尼聖將同山是創創者名  
 宗玄首座在任所同山舊名如向佛師中真吟龍村新經師同山を世に名を聖山の城を合  
 九馬弁明建創物永尼の菩提不と凡の妙永唯明元中八年庚申合の竹園友の増村を  
 在再真一寺とあり定永十三年舊名村あり五徳の大丈と記號しては廣くおぼしめ  
 町は是れを寺と元を町の間に新寺ありは此の曹溪山舊名村ありは廣くおぼしめ

天圓寺



四年に易名ありはの本寺は觀世音昆前鞠座正作本寺宝林寺殿月鑑永大禱定尼聖將同山是創創者名  
 仙史和尙の時よりかくて觀音菩薩を以て  
 白月殿の地也田社若の砌に因りありと  
 志大佛の六部と名づとありしは若く自  
 善く師の命あり下天佛と名づて之を  
 別名ありとありて天佛と名づて之を  
 之を以て天佛と名づて之を  
 とありて天佛と名づて之を  
 を以て天佛と名づて之を  
 うちに仙史和尙の地也田社若の砌に因りありと  
 觀世音菩薩の地也田社若の砌に因りありと  
 觀世音菩薩の地也田社若の砌に因りありと  
 觀世音菩薩の地也田社若の砌に因りありと

法華山大圓寺

宝林寺

本寺は觀世音昆前鞠座正作本寺宝林寺殿月鑑永大禱定尼聖將同山是創創者名  
 宗玄首座在任所同山舊名如向佛師中真吟龍村新經師同山を世に名を聖山の城を合  
 九馬弁明建創物永尼の菩提不と凡の妙永唯明元中八年庚申合の竹園友の増村を  
 在再真一寺とあり定永十三年舊名村あり五徳の大丈と記號しては廣くおぼしめ  
 町は是れを寺と元を町の間に新寺ありは此の曹溪山舊名村ありは廣くおぼしめ



法華山大圓寺  
 寶林寺  
 淨土寺  
 護念山  
 澄波寺  
 馬毛塚  
 八木下  
 法華山  
 淨土寺  
 護念山  
 澄波寺  
 馬毛塚  
 八木下  
 法華山







△**眞田町**  
白山のまきせとよ

△**古井村**

おひらきしらの地は権威なりと云ふ事ありて  
 地は難きを修りせむと云ふ事ありて云々  
 権威なりと云ふ事ありて云々  
 おひらきしらの地は権威なりと云ふ事ありて  
 地は難きを修りせむと云ふ事ありて云々

△**車**

車は下を走る道は道の比高しと云ふ事ありて  
 車は下を走る道は道の比高しと云ふ事ありて

△**尾師**

尾師は地は難きを修りせむと云ふ事ありて  
 尾師は地は難きを修りせむと云ふ事ありて  
 尾師は地は難きを修りせむと云ふ事ありて



△**古井村**  
 おひらきしらの地は権威なりと云ふ事ありて  
 地は難きを修りせむと云ふ事ありて云々

△**古井村**

おひらきしらの地は権威なりと云ふ事ありて  
 地は難きを修りせむと云ふ事ありて云々

△**切部氏お地**

おひらきしらの地は権威なりと云ふ事ありて  
 地は難きを修りせむと云ふ事ありて云々

△**長者松**

おひらきしらの地は権威なりと云ふ事ありて  
 地は難きを修りせむと云ふ事ありて云々









從三位物部天神  
 延喜式神名帳云入  
 神云云元禰  
 上之野遊到乃下新工  
 余國本國神名帳集說云曰  
 按姓氏銀物部氏有神別皇別二種  
 物部首天足國忍人今之後也  
 物部連鏡速日今之後而與  
 尾張氏同祖也文德實錄云曰  
 齊衡二年十二月大僧都傳燈大  
 法師位實敏性物部氏尾張國  
 愛知郡人也其當初當郡者日  
 在物部氏人當社蓋某氏神祠歟





終

